

(2) 履修方法及び修了要件

必修科目のうち、特別総合演習及び音楽学演習 2 科目計 4 単位、選択科目から各領域研究 8 単位以上を修得し、研究領域研究指導により博士論文（ただし、研究領域により、研究作品の発表又は研究演奏を行います。）を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

(3) 取得学位

作曲・指揮領域	}	博士（音楽） Doctor of Musical Arts (DMA)
器楽領域		
声楽領域		
音楽学領域……………		博士（音楽学） Doctor of Philosophy in Musicology (PhD)

3 講義等の内容

(1) 研究領域研究指導（全研究領域対象）

博士論文作成のための指導、並びに博士学位審査のための研究作品制作又は研究演奏の指導。ただし、音楽学研究領域においては、博士論文作成のみとすることができます。

(2) 特別総合演習（全研究領域対象）

各研究領域における理論的研究を専門的に深化させるとともに、個々の研究領域の専門性を超えて、より広範かつ総合的な視点から研究の展開を図ります。そのために、他研究領域の教員や学生との共同討議を通して専門領域以外の知見や理論的特質を探索し、それらを専門領域の研究に反映させます。

(3) 音楽学演習（全研究領域対象）

担当教員の指導のもと、音楽の理論的・実践的研究の基礎となる音楽学諸領域についての知見の整理とそれに基づいた考察を深め、専門領域の研究への応用を図るとともに、博士論文のテーマ決定に資します。

(4) 領域研究

職名については令和 4 年（2022 年）11 月 1 日現在

※印は令和 6 年（2024 年）3 月末退職予定の教員、※※印は令和 7 年（2025 年）3 月末退職予定の教員、

※※※印は令和 8 年（2026 年）3 月末退職予定の教員を示す。

研究領域・担当教員	研究指導内容
<b>作曲・指揮</b>  岡田加津子 教授 中村 典子 准教授 酒井 健治 講師 阪 哲朗 教授	作曲作品の実作又は指揮の実技と理論の研究を通して、高度な作曲技法又は指揮法の修得を目指します。そのために、作曲と指揮の密接な関係に鑑みて、双方向からの実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな音楽の創造を図ります。  作曲の作品制作及び理論の指導 作曲の作品制作及び理論の指導 作曲の作品制作及び理論の指導 指揮法及びレパートリー（管弦楽・歌劇・合唱）形成の指導
<b>器楽</b>	器楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な器楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな器楽演奏の創造を図ります。

研究領域・担当教員	研究指導内容
<p>※※ 砂原 悟 教授</p> <p>上野 真 教授 三船 優子 准教授</p> <p>豊嶋 泰嗣 教授 向山佳絵子 准教授 (着任予定)</p> <p>※ 大嶋 義実 教授</p> <p>村上 哲 教授</p>	<p>ピアノの演奏法一般並びにドイツロマン主義を中心とするピアノ作品の解釈の指導</p> <p>ピアノの演奏法一般並びに近現代ピアノ作品を含む解釈の指導</p> <p>ピアノの演奏法一般並びに古典から近現代までの解釈の指導、特にアメリカ作曲家・作品について</p> <p>ヴァイオリン演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導</p> <p>チェロ演奏法一般、弦楽作品解釈及び室内楽一般の指導 (弦楽)</p> <p>木管楽器(フルート)演奏法並びに管打楽作品理論研究、バロックから近代に至る管打楽作品解釈の指導</p> <p>金管楽器(ホルン)演奏法一般並びにオーケストラ、吹奏楽、室内楽作品の解釈と指導</p>
<p><b>声楽</b></p> <p>※ 小濱 妙美 教授 久保 和範 教授</p>	<p>声楽演奏の実技と理論の研究を通して、高度な声楽演奏の修得を目標とします。そのため、演奏作品及び演奏法に関する実践的・理論的研究を行うとともに、それらを取りまく歴史的、社会的、文化的状況についても理解を深め、新たな声楽演奏の創造を図ります。</p> <p>声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導</p> <p>声楽演奏一般並びに声楽楽曲解釈とレパートリー形成の指導</p>
<p><b>音楽学</b></p> <p>太田 峰夫 教授</p> <p>池上健一郎 准教授</p> <p>川端美都子 准教授</p> <p>正田 悠 講師 (着任予定)</p>	<p>音楽学諸分野の先端的研究の成果をふまえた、高度な音楽学研究の達成を目標とします。</p> <p>そのため、西洋音楽史・現代音楽論・演奏科学・音楽心理学・民族音楽学に関する理論的研究を行うとともに、学際的・分野横断的な研究を積極的に推進し、新たな音楽学研究の創造を図ります。</p> <p>西洋音楽史領域における高度な専門的知識の提供、および研究方法の指導</p> <p>西洋音楽史の領域について、様式研究、資料研究、音楽理論、音楽文化論等の観点から、高度な専門的知識を提供するとともに、個々の学生の関心に即した研究方法の指導</p> <p>民族音楽学や音楽人類学の観点から、音楽の社会的・文化的意味の考察及び民族誌的手法に関する研究の指導</p> <p>演奏科学・音楽心理学の観点から、高度な専門的知識を踏まえた実験・調査方法論、統計データ処理、および論文執筆に関する研究の指導</p>